

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)福利会館新営その	階数	地上7F
建設地	大阪府吹田市山田丘1-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所、飲食店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2015年10月1日
敷地面積	994.412 m ²	作成者	類設計室 佐藤
建築面積	2,813 m ²	確認日	
延床面積	5,736 m ²	確認者	類設計室 石橋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物内外を一体的に計画し、人の集う広場としての性質を強く持たせることで、キャンパスにおける福利・交流・研究の核となることを目指した。工学部の中心に位置する本計画は、既存の建物を生かすことで、高さを抑えたオープンスペースを実現する。既存部には屋外との繋がりを重視した改修を施す。増築部には企業のためのレントスペースを計画し、食堂やサロンが互いの交流の場として機能する。		(注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 様々な人が利用し得るサロンや実験室フロアで、乾式遮音壁を用いた良好な作業環境を実現しつつ、実験室では屋光率・自然換気とも十分に満たせる大きさの開口部を設けた。	Q2 サービス性能 統一感のある内装設計により、既存部と新営部の空間的融合を図る。企業を誘致するフロアでは、柔軟性をもたせるために階高に余裕を持たせ天井レスとし、テクニカルバルコニーによって設備の更新性やメンテナンス性に	Q3 室外環境(敷地内) 企業の研究者や学生とが互いに出会い交流する場とするために、溜まりのための庭やテラスを計画した。既存の建物を残すことで、周辺の建物よりも建物高さの低い開けた空間とし、暖かく風通しのよいボリューム計画とし
LR1 エネルギー 新営部の南面大開口には、Low-Eガラスを採用し、熱負荷の低減を図った。	LR2 資源・マテリアル 既存部を残し、必要な補強を行ったうえで、その屋上に新営部のアプローチを設ける。既存部の内装を重点的に改修し、再利用可能な仕様に配慮し、建物を持続的に利用していける設計とした。	LR3 敷地外環境 緑の多いキャンパスで、敷地内の風の流れを阻害しないよう、風上に対してセットバックしたボリュームを計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0100

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	大阪大学(吹田)福利会館新営その他工事					
		建設地	大阪府吹田市山田丘1-1					
		用途/区分	事務所 飲食店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.2	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.1		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				2.5		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり		③ みどり・ヒートアイランド対策						
ヒートアイランド対策								
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								